

国際協力			
区分	No	団体名 代表者（事務局長） 連絡先	設立年 会員数 設立の目的 主な活動内容
国 際 協 力	66	(公財) オイスカ岐阜県支部 小川 信也 (大橋 克幸) 〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎 本館1階 大橋 美知子 TEL 058-216-2463 FAX 050-7544-2377	1975 (団体) 130 (個人) 30 1 5月20日異文化交流授業（オイスカ岐阜県支部） 北方小学校6年生児童とオイスカ中部日本研修センターの研修生との国際交流及び海外各地の文化や生活習慣環境などを理解する。児童60名・研修生8名 2 6月20日ハロー岐阜・ハローワールド参加 3 7月12日畑の交流会（岐阜県支部） スリランカ・中国の家族6人と地元の人達及び会員達と山田農園に於いてトウモロコシの収穫を行い、それを調理してお互いの交流を深めた 4 10月8日国際交流の集い（オイスカ本部） 衆議院第一議員会館に於いて衆参両議院議員と一般会員及び海外の代表が参加し、交流会が行われた 5 10月23日子供の森親善大使交流授業（岐阜県支部） インドネシア・タイの子供の森参加校生徒7名（小・中学生）と北方西小学校・岐阜農林高校の生徒との交流授業が行われた 6 10月24日岐阜県支部設立40周年記念事業（岐阜県支部） ホテルグランヴェール岐山において県知事をはじめ、政財界の方達、一般会員、インドネシア・タイの子供達、台湾、スリランカなど海外代表及び中部研修センターの研修生など総数300名以上が参加し、竹田恒泰氏の講演と2部では国際交流レセプションが行われた。 7 12月12日畑の交流会（岐阜県支部） スリランカ・中国の家族6人と地元の人達及び会員達と山田農園に於いてブロッコリーの収穫を行い、それを調理してお互いの交流を深めた
	67	JICA 岐阜県デスク 青木 道裕 〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階 (公財)岐阜県国際交流センター内 青木 道裕 TEL 058-263-8069 FAX 058-263-8067	2002 ・ J I C Aと地域のみなさんとを繋ぐ窓口として各県に J I C Aデスクを設け、国際協力推進員を配置している。国際協力事業への広報活動の推進、 J I C Aボランティア事業への参加促進及び、開発教育・国際理解教育支援を行う。 1 出前講座講師派遣 学校、地方公共団体、民間企業などへ J I C Aボランティア経験者や J I C A職員を派遣し、世界の現状や途上国の生活などを学べるプログラム。 2 国際理解教育講座 岐阜県総合教育センターと J I C Aの共催。教員を対象にワークショップや講義を通じて、開発教育・国際理解教育を学べる講座。 3 J I C Aボランティア募集説明会 春・秋の J I C Aボランティア募集期間中に県内2ヶ所で開催。 J I C Aボランティアに参加したい、途上国や経験者の話を聴きたいなど、興味のある方どなたでも参加可能。 4 各種イベントへの J I C Aブース出展 国際協力の周知及び J I C AボランティアPRを目的に行う。途上国のゲームや雑貨作りなど親しみやすい催しを通じ、広く一般向けにPRする。
	68	岐阜 J I C A ボランティアの会 (岐阜県青年海外協力隊を支援する会・ J I C Aボランティア岐阜県OV会) 渡辺 和義 (高橋 清) 〒509-0115 各務原市緑苑南2-75 高橋 清 TEL 058-370-7636 FAX 058-370-7636	1991 (個人) 40 ・ J I C A青年海外協力隊・シニアボランティアの参加支援、帰国後の支援及びOB・OGの交流 1 派遣隊員の県庁表敬訪問随員・ボランティア壮行会（年4回） 派遣予定者知事表敬訪問と派遣への激励 2 食文化交流会・家族交流会 隊員や関係者による外国料理と文化の説明による国際知識を深める。 3 サポート企業参加への誘導活動 帰国隊員の就職円滑化のため、企業の協力賛助を啓蒙する 4 青年海外協力隊帰国報告会（出前講座） 隊員による派遣国でのボランティア活動の紹介と啓蒙

区分	No	団体名 代表者（事務局長） 連絡先	設立年 会員数	設立の目的 主な活動内容
国際 協 力	69	特定非営利活動法人 ムラのミライ 中田 豊一 大塚 由美子 〒506-0031 岐阜県高山市西之一色町3-820-1 飛騨高山・森のエコハウス 気付 和田 あすか TEL 0577-33-4097 FAX 0577-36-5471	1993 (団体) 4 (個人) 144	私たちは、コミュニティ・経済・環境のバランスが取れた社会の実現を目指します。そのために、各地域でコミュニティが資源を維持、活用、循環させる仕組みや暮らし方を創り出していきます。また、その方法論を、生活の現場での活動を通して構築し、それを担い実現する人材の育成を行います。 1 多角的資源活用農法（DIFS）を通じた農地利用と集水地域保全普及一発展型地域住民主導マイクロウォーターシェッド・マネージメント ・川の流域を単位に水資源の涵養と土壌の保全、森の再生に取り組み、住民組織が誕生した ・自然農法の普及と指導員による流域管理コンセプトの技術移転に取り組んだ 2 環境教育と知己住民主体の環境保全活動を通じた地域コミュニティの強化 ・環境教育副読本の作成、配布を行い、学校授業での活用や新たな環境教育研修の実施を支援した。 ・分散型排水処理施設を昨年に引き続き建設。汚染のメカニズムや施設の維持管理に関する研修を実施した。 3 メタ・ファシリテーションの手法を使った人材育成 課題発見・解決に取り組む個人あるいはグループ・コミュニティを側面から支援する実践的なファシリテーション手法の普及を行った。 4 ネパール震災 緊急支援 地震発生後、ホームページ上に特設ページを開設し、募金活動を開始した。支援金によって、カトマンズ市内と郊外、特に交通アクセスが悪く、政府や外部団体による援助が届けられていない地域に毛布、防水シート、食料等を届けた
	70	ボンドウ孤児院 プロジェクト 毛利 千恵子 (豊田 由紀子) 〒500-8385 岐阜市下奈良2-35-38 若岡 ます美 TEL 070-5330-1192 FAX 058-274-8464	1993 (個人) 約100	・「子ども達の未来に希望を支えて下さいますか」をスローガンにバングラデシュに孤児院を設立・運営し、孤児の自立と日本の子ども達の交流を図る。 1 ボンドウ孤児院活動報告会 6月 同志社支部報告会・交流会、懇親会 2 ハローギフ・ハローワールド2015 参加 6月岐阜県内の国際交流団体の活動報告、バングラデシュ製品や支援品の販売 3 JBSC20周年フェスタ参加 6月JBSC(日本バングラデシュ友好協力会) 20周年フェスタ参加・活動紹介・交流 4 ボンドウ孤児院20年の歩み総会 11月ボンドウ孤児院20年の歩み総会・同志社支部活動報告会・交流会、懇親会 5 「バングラデシュ20年の歩み」写真パネル展 11月1～14「バングラデシュ20年の歩み」写真パネル展をハートフルスクエアGにて開催 6 東長良中学校にて授業 11月特別授業「自己創生の日」活動にて、「国際協力」をテーマにバングラデシュの情勢やボンドウ孤児院の活動について講演 7 ボンドウ通信発行 年2回の定期通信発行